事業評価シート【新規事業-1】

導	業名	空き家等活用による「まちの活性化」グランドデザイン作成事業		基節	5	総	基本目	標 3	
事	事業コード		本 テーマ	7	合	施策の方	7 向 1		
部	果係名	建築課住宅政策係	内線	計施策	3	戦一略	施策	1	
担当	当者氏名		職名	主な施策展開	1	哈	整理番	号 2	
事業概要		本事業は、本市の空き家・空き地・空き店舗(以下空き家等という。)や地域資源、課題解決のための要素 及び社会トレンド等のコンテンツを組み合わせた活用方策を検討し、「まちの活性化」に資するグランドデザ インする。							
現在の課題や 市民要望など		新型コロナウイルスによりリモートワークが浸透し、働く場所に囚われない新しい居住スタイルの実現に向け地方移住への関心が高まっている。本市に点在する空き家等の活用の推進により、本市の課題を解決することで、都会にはない新たなライフスタイルの創出、本市の活性化につながる新たな活用方法が求められている。							
事業目的		 空き家等の解消及び活用 移住・定住施策の推進 新ビジネスの創出 							
	個別 取組	別 ① 空き家所有者アンケート調査、先進事例調査 ② 空き家等活用ニーズに関するアンケート							
	業による	1		2					
改善・変更点		3							
事	業対象	☑ 個人・世帯 □ 団体(□ その他 ()	
	内容	① 空き家所有者、市」 ③	民、法人	2 4					
業	務形態	☑ 全部委託 □ 一部	委託 ② 直営	□ 負担金・交	付金 🗸 その	他()	
	内容	 研究委託 ③ 		② ④					
支出根拠		□ 有 □ ☑ 無 □ 法令 等 ;	i 要綱 ① 名称 ③		2				
市业业生					後年度負担	_	有「、	/ 無	
重	業継続	☑ 単年度 □ ;	複数年度∶無期		100 十尺只在	<u> </u>	<u> </u>	<u>/_ **</u>	
事	業継続	□ 複数年度:有期[始期			内容				
事	業継続	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域		事業費国	内容 3,200,00	0	年月	内容	
事 		□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代		事 業 費 国 県 市 債	内容 3,200,00 3,200,00	0	年月		
事		□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用		国県市債	内容 3,200,00 3,200,00	0	年月 4 課 9 携		
		□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代		国 県 市 債 そ の 他 一般財源	内容 3,200,00 3,200,00	0 0 事	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
		□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用		国 県市 債 その他 一般財源 事業費	内容 3,200,00 3,200,00	9000 事務	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
		□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費		国 県 市 債 そ の 他 一般財源	内容 3,200,00 3,200,00	000 事務スケ	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
事業費の	R3 年度	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費		国市債の他一般財費国市の他	内容 3,200,00 3,200,00	000 事務スケジ	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
	R3 年度	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費		国 県債 での 他 源費 県債 での しん かん かん でん かん でん かん でん かん	内容 3,200,00 3,200,00	000 事務スケ	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
事業費の	R3 年度	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費		国市 信 で 他 一般財 費 里 市 で の 財 費 県 債 で の 財 類 費 県 債 で の 財 費 費 乗 業 費 で の 財 費	内容 3,200,00 3,200,00	000 事務スケジ	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
事業費の	R3 年度 R4 年度	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費		国 県債 での 他 源費 県債 での しん かん かん でん かん でん かん でん かん	内容 3,200,00 3,200,00	900 事務スケジュー:	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
事業費の	R3 年度	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費		国市での財業国市での財業の財産の対象業の対象業の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	内容 3,200,00 3,200,00	000 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	年月 4 課 9 携	内容 明査、研究 是案	
事業費の	R3 年度 R4 年度	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費	~ 終期	国市その般業国市を一般業別での財業の対象の対象を関する。	内容 3,200,00 3,200,00	000 8務スケジュール	年月	内容 周査、研究 是案 棒評会開催	
事業費の積算	R3 年度 R4 年度	□ 複数年度:有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費	~ 終期 ~ 終期	国市を一事国市を一事国市を一般業の財業の財産の対応を対応でいる。	内容 3,200,00 3,200,00 創生臨時交付	000 事務スケジュール 0 金を	年月 4	内容 調査、研究 是案 棒評会開催 でき家所有者の意識	
事業費の積算	R3 年度 R4 年度	□ 複数年度: 有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費	~ 終期	国市を一事国市を一事国市を一般業の財業の財産の対応を対応でいる。	内容 3,200,00 3,200,00 創生臨時交付	000 事務スケジュール 0 金を	年月 4	内容 周査、研究 是案 棒評会開催	
事業費の積算	R3 年度 R4 年度 R5 年度 節減効果	□ 複数年度: 有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費 □ 有 ■ 無 千円 指標の種類	~ 終期 節減効果 の内容 の内容 の大容	国市その財業目市その財業目市を般業目市を般業目市を般業目市を般業目市を般地的で発える。	内容 3,200,00 3,200,00 3,200,00 創生臨時交付 空き家の利温	000 事務スケジュール 金をを	年月	内容 引査、研究 是案 講評会開催 ごさ家所有者の意識 ることにより、経費節減	
事業費の積算	R3 年度 R4 年度 節減効果 金額	□ 複数年度: 有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費 □ 有 無 千円 指標の種類 名称	~ 終期 節減効果 の内容 の内容 か果は莫 計算方法	国市 で 般業 目 市 で 般 地 的 で 発 う か が 自 る 。	内容 3,200,00 3,200,00 3,200,00 創生臨時交付 空き家の利活	000 事務スケジュール 金をを	年月	内容 調査、研究 是案 講評会開催 学学家所有者の意識 ることにより、経費節減	
事業費の積算	R3 年度	□ 複数年度: 有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費 □ 有 ■ 無 「	~ 終期 節減効果 の内容 の内容 の大容	国市 で 般業 目 市 で 般 地 的 で 発 う か が 自 る 。	内容 3,200,00 3,200,00 3,200,00 創生臨時交付 空き家の利温	000 事務スケジュール 金をを	年月	内容 引査、研究 是案 講評会開催 ごさ家所有者の意識 ることにより、経費節減	
事業費の積算とという。とは、主要指	R3 年度 R4 年度 節減 強	□ 複数年度: 有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費 「ション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 本 終期 節減効果の内容 計算方法 提案数 	国市 で 般 業 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 力 な か な か な か な か な か な か な か な か な か な	内容 3,200,00 3,200,00 3,200,00 1,200,00 1,200,00 1,200,00 2,200,00 2,	000 事務スケジュール 金をを	年月	内容 引査、研究 是案 講評会開催 ごさ家所有者の意識 ることにより、経費節減	
事業費の積算	R3 年度	□ 複数年度: 有期[始期 ○市内全域 交通費 模型材料代 作品展関連費用 報告書印刷製本費 □ 有 ■ 無 「	~ 終期 節減効果 の内容 の内容 か果は莫 計算方法	国市 で 般 業 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 費 県 債 他 源 力 な か な か な か な か な か な か な か な か な か な	内容 3,200,00 3,200,00 3,200,00 創生臨時交付 空き家の利活	000 事務スケジュール 金をを	年月	内容 引査、研究 是案 講評会開催 ごさ家所有者の意識 ることにより、経費節減	

事業評価シート【新規事業-2】

			カンは が明しようと 東番 かく 見明 マウザマとわいん
		本・目的の妥当性	・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	まちの魅力、価値を低下させる空き家等は、自治体が積極的に関与し、解決しなければならない。空き家等の問題解決はまちの活性 化、移住定住にも繋がり総合計画における目的に合致する。
	2. 事業の有効性		・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	グランドデザインの提案は、空き家所有者のみならず、市民、民間 事業者への意識の醸成及び啓発に効果的であり、民間活力の利用に よるまちづくりのきっかけになる。
	3. 事業の	効率性	・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
項目別	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	コンサルに委託するより知的資源である大学の方がはるかに安価である。自治体単独による施策よりも斬新な空き家等の活用方策の発掘につながる。
評			A + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 2 + 2 + 1 + 7 TT +
評	4. 緊急性		・今実施しなければならない理由。・実施しない場合の問題点。
	4. 緊急性評価		
評		A. すぐに実施する必要有	・実施しない場合の問題点。 ◎評価理由(上記の観点により記入してください) 増加する空き家等に対し、有効な対策を早期に打ち出す必要がある。
評	評価 A 5. 市民要	A. すぐに実施する必要有 B.2~3年後に実施する必要有	・実施しない場合の問題点。 ◎評価理由(上記の観点により記入してください) 増加する空き家等に対し、有効な対策を早期に打ち出す必要がある。 ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。
評	評価 A	A. すぐに実施する必要有 B.2~3年後に実施する必要有 C.すぐに実施する必要はない	・実施しない場合の問題点。 ◎評価理由(上記の観点により記入してください) 増加する空き家等に対し、有効な対策を早期に打ち出す必要がある。 ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。
評	評価 A 5. 市民要	A. すぐに実施する必要有 B.2~3年後に実施する必要有 C.すぐに実施する必要はない	・実施しない場合の問題点。 ◎評価理由(上記の観点により記入してください)増加する空き家等に対し、有効な対策を早期に打ち出す必要がある。・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。◎評価理由(上記の観点により記入してください)良質な住環境の整備は、市民が強く望むものである。その阻害要因となる空き家等は、市内に各所に点在しており、景観や衛生的にも近隣住民にストレスを与える。空き家等の解消について年間百数十件の相談がある。
評	評価 A 5. 市民要 評価 A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない 望・公平性 A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有	・実施しない場合の問題点。 ◎評価理由(上記の観点により記入してください) 増加する空き家等に対し、有効な対策を早期に打ち出す必要がある。 ・どういう市民要望があるのか。・受益者負担は適正か。・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 ◎評価理由(上記の観点により記入してください) 良質な住環境の整備は、市民が強く望むものである。その阻害要因となる空き家等は、市内に各所に点在しており、景観や衛生的にも近隣住民にストレスを与える。空き家等の解消について年間百数十

	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性							
総合評価	評価 A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	◎評価理由 空き家等の利活用につながる事業と認められる。なお、新型コロナ 対応地方創生臨時交付金で財源が確保できる令和3年度中にスピー ド感をもって事業実施を進められるように努めるものとする。					
	■政策調整会議による評価							
	評価		◎評価理由 ☆ *** *** *** *** *** *** *** *** *** *					
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	空き家等の、課題解決のためのアイデア及び新たなライフスタイルなどの創出等社会トレンドを組み合わせた活用方策を千葉大学との連携により検討することが、「まちの活性化」につながると評価した。					
	■庁議による方針							
	評価							
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。					